

地域部活動指導者育成研修会

学校部活動で大切にしていること



R4. 5. 29(日)本巣市民文化ホール
R4. 6. 5(日)大垣市民会館
R4. 6. 12(日)こくふ交流センター

岐阜県教育委員会体育健康課
教育主管 中村 康男

本日の講義内容

- 1 スポーツ活動の現状
- 2 学校教育の一環としての部活動
- 3 教育活動のPDCAサイクル

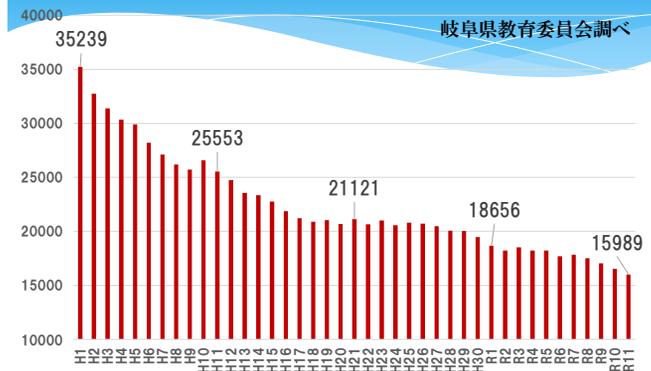


地域部活動指導者育成研修会
～学校部活動で大切にしていること～

1 中学生のスポーツ活動の現状

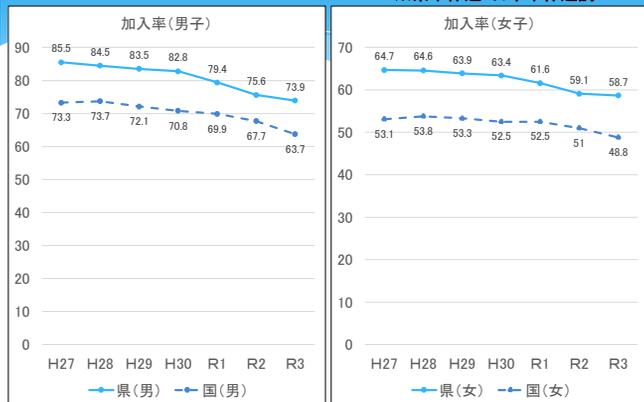


県内中学校3年生の生徒数(人)



中学校の運動部活動加入率の推移

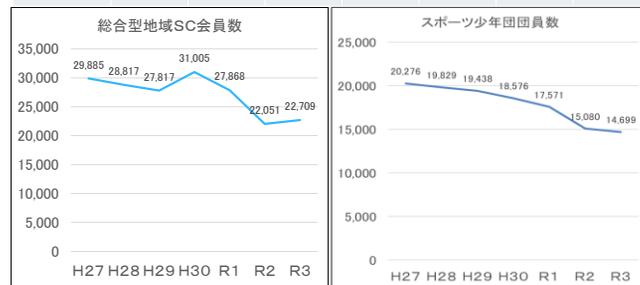
※県中体連・日本中体連調べ



総合型地域SC・スポ少の参加数

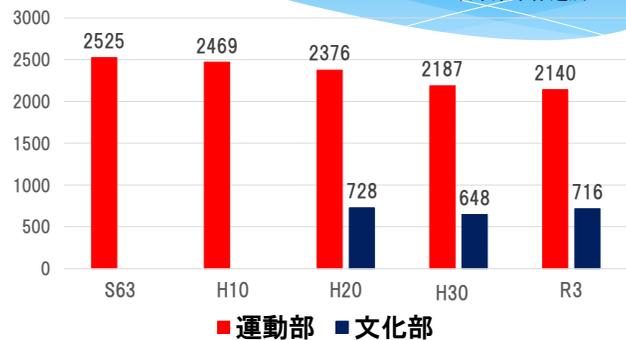
※清流の国推進部調べ

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
総合型地域スポーツクラブ会員数	29,885	28,817	27,817	31,005	27,868	22,051	22,709
スポーツ少年団員数	20,276	19,829	19,438	18,576	17,571	15,080	14,699



中学校の部活動設置数

岐阜県中体連調べ



中体連夏季大会合同チーム参加数

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国共通(*1)	16	19	22	36	41	中止	77
うち県独自(*2)	—	—	—	—	—	中止	17

(※1) 複数校合同チーム参加規程(平成13年から実施)
第2条 次の6競技について、定める部員の数に満たないチームに適用する。
☑ バスケットボール5人、サッカー11人、バレーボール6人、ハンドボール7人、野球9人、ソフトボール9人

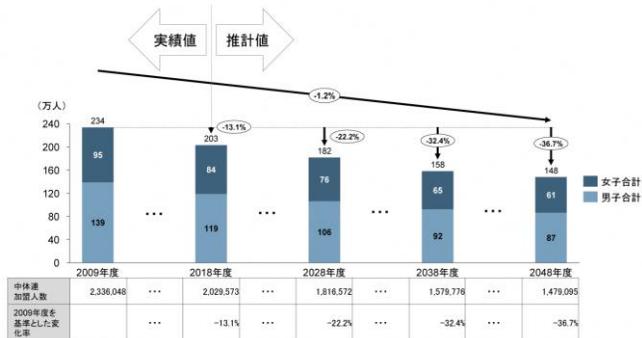
(※2) 複数校合同チーム参加規程(令和3年から実施)
第8条 合同チーム編成にあたり、この規程に沿わない形態での編成希望や判断が難しい場合は、審議の対象となる。

➡ R3県独自基準で参加し、勝ち抜いても、東海大会以上には出場できない。

30年後の運動部活動の生徒数(推計)

※スポーツ庁Web広報マガジンより

男女ともに、2009年度～2018年度の13歳～15歳人口に対する中体連に加盟している総人数の比が一定であると仮定し、国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計をもとに2048年度までの中体連加盟人数を推計した。



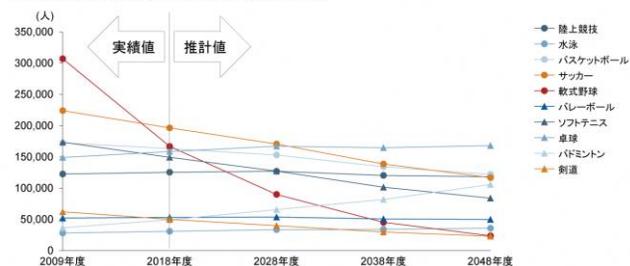
30年後の運動部活動の生徒数(推計)

※スポーツ庁Web広報マガジンより

中体連|男子 競技別加盟人数 推計

2009-2018年度において中体連加盟総人数がピークを迎えた時点(2009年度)からの変化の傾向が各競技において今後も続くものと仮定し、2048年度までの人数を推計。その人数を元に全競技の中でその競技が占める割合を計算し、上記で推計した全体の人数にかけ合わせることで推計した。

● 2018年度における加盟人数上位10競技を表示させている。



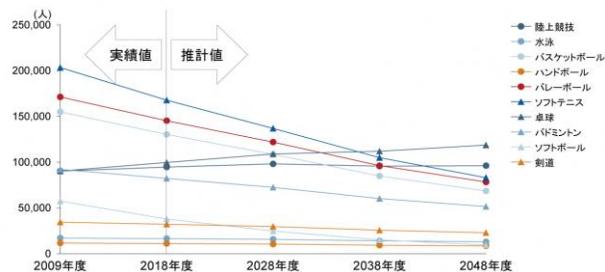
30年後の運動部活動の生徒数(推計)

※スポーツ庁Web広報マガジンより

中体連|女子 競技別加盟人数 推計

2009-2018年度において中体連加盟総人数がピークを迎えた時点(2009年度)からの変化の傾向が各競技において今後も続くものと仮定し、2048年度までの人数を推計。その人数を元に全競技の中でその競技が占める割合を計算し、上記で推計した全体の人数にかけ合わせることで推計した。

● 2018年度における加盟人数上位10競技を表示させている。



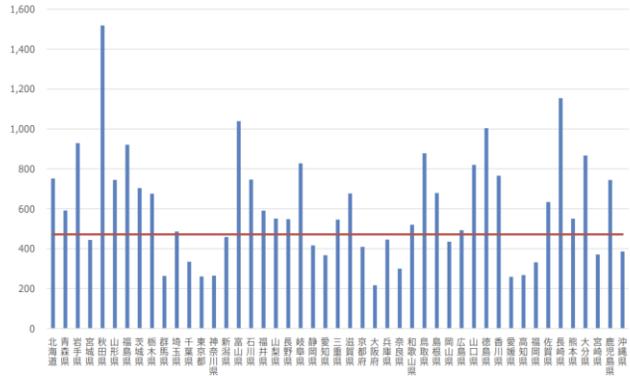
県内の部活動の指導者数

※R3年度体育健康課調べ



人口10万人当たりの地域におけるスポーツ指導者の数（都道府県別）

• 人口10万人当たりのスポーツ指導者の平均：470人



(出典) スポーツ年報：(公財)日本スポーツ協会「令和2年度登録状況」, 統計団体：スポーツ庁「地域におけるスポーツ大会・スポーツ団体の実態に関する調査分析」, 総合型地域スポーツクラブ：スポーツ庁「総合型地域スポーツクラブ実態調査」（登録数は前年度調査時点）, 国民体育センター：(公財)日本体育センター「国民体育センター実態調査報告書」, スポーツ日本協会「スポーツ日本協会加盟団体数調査報告書」, レクリエーション：(公財)日本レクリエーション協会「国民体育センター実態調査報告書」, 中学校運動部活動：(公財)日本中学校運動部活動「令和3年度加盟校・加盟生徒数調査」を基にスポーツ庁作成

地域移行後の運営主体 ※R3. 10月体育健康課調べ

運営主体	総合型地域スポーツクラブ	民間スポーツクラブ	スポーツ少年団	スポーツ協会	保護者クラブ	家庭・学校・地域・市町村等が協働	検討中
割合	24.6%	1.4%	14.5%	7.3%	31.9%	11.6%	8.7%

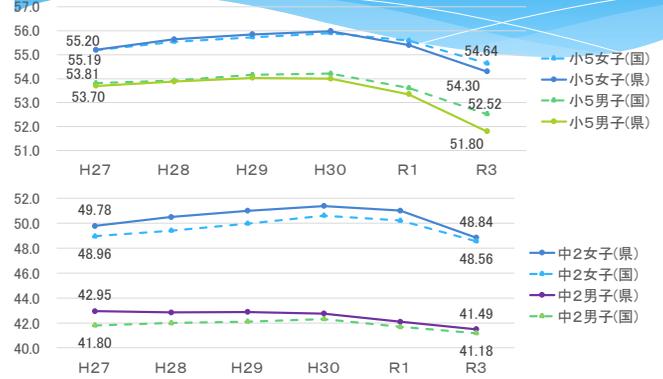
運営主体	総合型地域スポーツクラブ	保護者クラブ	その他の団体 (家庭・学校・地域・市町村等が協働)
必要な部門	県認定クラブ	任意団体	—
団体として性質	連携済み	任意団体	—
行政との連携	連携済み	—	—
責任の所在	クラブ	保護者代表	—
代表者の有無	会長・理事長	保護者代表	—
約款等の整備	整備済み	—	—
事務局の設置	担当者	保護者(代表)	—
会計担当の設置	担当者	保護者(代表)	—
指導者の有無	社会人指導者 実践研究にて検証中	社会人指導者・保護者	—
加入者の会費	入会金等	—	—
加入者の保険加入	スポーツ安全保険等	スポーツ安全保険	—
指導者と部顧問の連携	実践研究にて検証中	活動日程に係る連絡のみ	—
運営主体と学校の連携	実践研究にて検証中	学校施設利用に係る連携のみ	—

様々な運営主体における実践研究の実施
 ・「保護者クラブ」は保護者への負担が大きく、保護者代表が単年で変更になる。
 ・新しい形の団体をどのように設立し、運営していくのに係る先進事例がない。



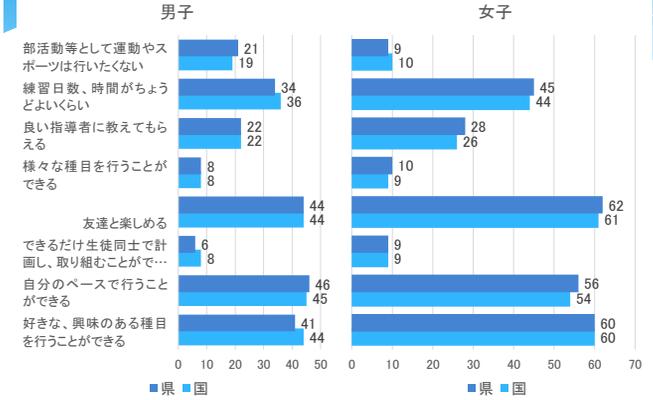
本県の小・中学生の体力状況

※令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査



どんな条件があれば運動部活動に参加したいか

※H30全国体力・運動能力、運動習慣等調査



部活動改革の方針

- 持続可能な部活動の実現
- 教師の負担軽減の実現



【改革の方向性】

- * 休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備
- * 休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない(希望する教師が、休日に指導を行う)環境を構築

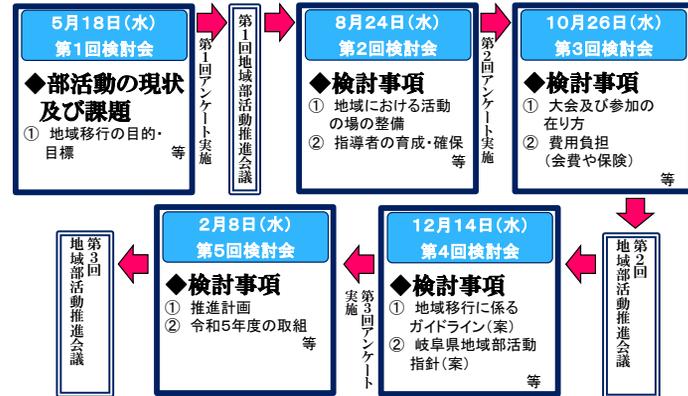
地域部活動指導者育成研修会
～学校部活動で大切にしていること～

2 学校教育の一環としての部活動



■岐阜県中学校部活動のあり方検討会について

【目的】令和5年度からの休日の部活動の段階的な地域移行を進めていく方向性が、令和2年9月に文部科学省より示され、令和3年度、国の事業において実践研究を行った。指導者の育成・確保や受益者負担の問題など、多くの課題を抱えている。
これらの課題を解決するために、教育やスポーツに関する専門家や有識者が集まり、現状を踏まえ、岐阜県における地域移行のガイドラインや地域移行を踏まえた岐阜県地域部活動指針の策定を行う。



部活動とは...

■中学校学習指導要領(平成29年告示)総則

◆教育課程外の学校教育活動と教育課程との関連

特に、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。

運動部活動で期待される効果

運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン(H30年スポーツ庁)

- スポーツの楽しさや喜びを味わい、**生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力**を育てる。
- **体力の向上や健康の増進**につながる。
- 保健体育科等の教育課程内の指導で身に付けたものを発展、充実させたり、活用させたりするとともに、運動部活動の成果を学校の教育活動全体で生かす機会となる。
- **自主性、協調性、責任感、連帯感**などを育成する。
- 自己の力の確認、努力による**達成感、充実感**をもたらす。
- 互いに競い、励まし、協力する中で友情を深めるとともに、学級や学年を離れて仲間や指導者と密接に触れ合うことにより学級内とは異なる**人間関係の形成**につながる。

学習指導要領に込められた願い

- 学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。
- これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。
- そして、明るい未来を、共に創っていきたい。
- 「学習指導要領」には、そうした願いが込められています。
- これまで大切にされてきた、子供たちに「生きる力」を育む、という目標は、これからも変わることはありません。
- 一方で、社会の変化を見据え、新たな学びへと進化を目指します。

生きる力 学びの、その先へ

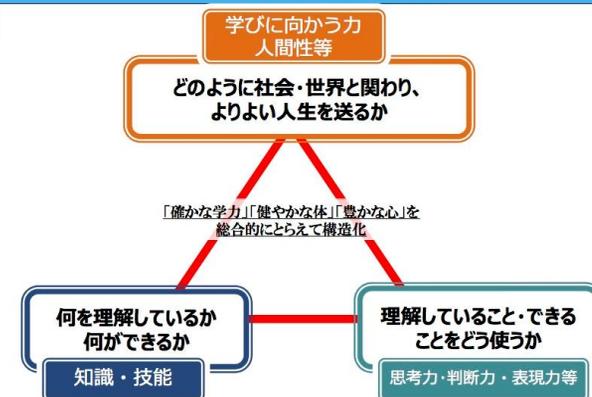
- 「学習指導要領」の内容を、多くの方々と共有しながら、子供たちの学びを社会全体で応援していきたいと考えています。
- 文部科学省HPより

教育課程とは...

* **学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を子供の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画であり、その編成主体は各学校である。**

- 各教科
- 道徳科
- 総合的な学習の時間
- 特別活動

育成すべき資質・能力の三つの柱



どのように学ぶの？

主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の観点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。

一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に



見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に



周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

文部科学省HPより

「教える」から「学ぶ」へ

- * これからの時代に必要な資質・能力を育むために、指導者の不断の授業改善への姿勢が求められている。
- * 子供たちそれぞれの興味や関心を基に、一人一人の個性に応じた多様で質の高い学びを引き出すことが大切。

部活動の教育的意義

- * **スポーツや文化及び科学等に親しませるとともに、自らの適性や興味・関心等をより深く追求することができる**
 - ☞ 生涯にわたるスポーツ・文化活動等との豊かな関わり方を学ぶ
- * **異年齢との交流の中で、生徒同士や教員と生徒等の人間関係の構築を図ることができる**
 - ☞ 互いに競い、励まし、協力する中で友情・信頼を深める
- * **生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めることができる**
 - ☞ 自主性、協調性、責任感、連帯感などを育成するとともに、自己の努力により達成感、充実感をもたらす

生きる力を育む

地域部活動指導者育成研修会
～学校部活動で大切にしていること～

3 教育活動のPDCAサイクル



PDCAサイクルとは...



D 実践

- 1 効果的な練習
 - 練習は1日3時間まで
 - 経験のみによらない科学的な指導
 - ICT機器の活用
- 2 健康管理、安全管理
 - 休養日の設定
 - 個々の生徒の既往症等の把握、健康観察
 - 救命救急法、AEDの講習
 - 施設設備、用具等の定期的な確認

P 計画

- 1 実態把握と目標設定
 - 経験の有無、生徒の意識、参加状況
 - 頑張れば手が届く目標
 - ☞ 勝利を目指すことばかりでない！
- 2 長期計画と短期計画
 - 3年間の段階的な指導計画
 - 次の大会(練習試合)までの活動計画
- 3 指導体制の整備
 - 部活動顧問、クラブ指導者、保護者(育成会)など

C 評価

- 1 計画的な試合等の実施
 - 部員全員の出場機会の保障
 - 少なくとも1カ月先の予定が明確
- 2 成果と課題の共有
 - 取組(姿勢)と結果の両面で評価
 - 活動前に確認した目標や取組を踏まえた評価
 - ☞ 練習でやっていないことを評価しない

A 改善

1 評価結果の分析・検討

- キャプテンを中心としたミーティング
- 部員1人1人の振り返り
- ☞指導者の専門性を発揮！

2 改善点の洗い出し

- 取り組み方の見直し
- 練習内容の見直し